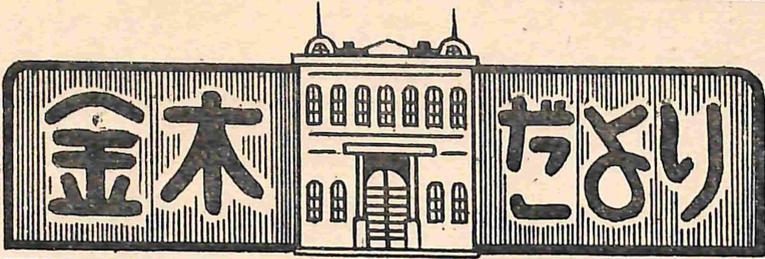


防犯・交通安全標語

違反問われて渋い顔、事故をおこして青い顔、無事故で帰る笑い顔

飲むな、眠るな、無理するな
防犯は春、夏、秋、冬絶えず
暗かりを無くして越そう

発行所 青森県 金木町役場
編集 企画 室



年末の防犯・防火

あと半月でお正月。一年中ではいよいよ犯罪のおこりやすい時です。すり・ゆすり・あきすねらい・ひったくりなど。すべて年の瀬のせわしさにつけたり、わたしたちのちよとしたすきをねらう犯罪です。

火災のことは申すまでもありません。冬季は火事の原因になる火元がいたるところにあります。こたつ、ストーブ、勉強室のあんかなど、いくら注意してもしすぎることはありません。

農業構造改善事業

総事業費一億二千六百万円

区画整理やりんど貯蔵庫

予備計画書でできる

昭和四十一年六月に農業構造改善事業計画地域に指定された金木町では、四十二年事業実施を目指して計画の作成作業を進めていきましたが、このほど県ならびに農林省と協議するための予備計画書ができました。

この計画書を地元、県、農林省がさらに詳しく協議検討し、事業実施のための計画書を作成して、これに基づいて事業が進められるという段階になるわけです。

このほどまとまった計画書のあらましについてお知らせします。

基本構想

事業実施の中心となる基本構想は米とリンゴで、米については、小田川地区土地改良事業の計画地域に入っていない川倉の女坂、米出などの水田九十四ヘクタールの区画整理を行ない、トラクター、刈取機などの機械を入れ、近代化農業への移行をはかり、りんごに

事業費

Table with 2 columns: 区切 (Country, Prefecture, Public Funds, Modernization Funds, Self Funds) and 金額 (Amount). Total: 126,095,000円

事業量

農業構造改善事業として行なうのは、区画整理九十四ヘクタール(事業費四千八百万円)、トラクター三台(七百五十万円)、結束機二台(二百二十万円)、結束機二台(二百二十万円)などです。

事業主体

型稲刈取機八台(四百四十万円)、農道一千二百九十九メートル(四百三十七万円)など。農協はスピード・スプレヤー二台、りんご貯蔵庫一むね、農機具格納庫二むね、喜良市農協はスピード・スプレヤー一台と農機具格納庫一むね、のそれぞれ事業主体となる予定です。

実施年度

事業実施の中心となるのは農協と土地改良区です。川倉土地改良区は区画整理九十四ヘクタール、川倉農協はトラクター三台、刈取機八台、スピード・スプレヤー一台と農機具格納庫二むね、金木農協はスピード・スプレヤー二台と

標語で公明選挙を推進

明るく正しい選挙 推進協議会

公明選挙推進運動の一つとして、金木町選挙管理委員会と明るく正しい選挙推進協議会では、町内の小中学校の生徒から公明選挙の標語を募集して、このほど入選作をきめました。応募者は二百二人で、この中から優秀作八点、佳作二十点を決めたものです。

優秀

- △(金中二年、村田淳子) △心もはればれ正しい一票 (金中二年、三上正子) △この一票を売るな買わない (南中三年、山中憲子) △兩親の正しい一票に光る (南中二年、沢田修二) △明るい一票しあわせまね



【四角塔に標語を書いているところ】

稲作雑感



今年も西南暖地では、暑熱が続いて人間の方は大分うだつたようですが、暖地の稲作も、佐賀の稲作に刺戟されて再び増収の可能性を見出したようです。これは暖地でも倒れないおかげでお米病気に強く多収なホウキヨク、シラソイなどという品種が作り出されたせいもあると思います。加えて農家と指導陣が一丸となって、土づくりを始め、新しい栽培技術を導入した努力が実を結んだもので、世にこれは「新佐賀段階」とよんで

とです。一方、東北や北海道は去年以上の不順天候で、正に一喜一憂、空を仰いでため息ばかりついていたことを考えると、日本は広いとつくづく感

サラン 妊婦に腹帯を支給

町では四月から妊婦に腹帯を支給していますが、該当者はもれなく申請するよう係では望んでいます。該当者 金木町に居住し、母子手帳の交付を受けた妊娠五か月以内の妊婦。申請手続 母子手帳を持って役場の民生課までおいで下さい。

戸籍の窓 出生と死亡

- ☆須崎史丈 (良一長男) 嘉瀬 ☆小野誓也 (正一長男) 中柏木 ☆山中英鈴 (幸雄長女) 嘉瀬 ☆大橋則正 (一郎二男) 喜良市 ☆山藤竜治 (武司長男) 喜良市 ☆藤元美由起 (義丸長女) 喜良市 ☆死んだ人 ☆泉谷ナミ(八二)川倉 ☆太田多吉(六二)金木 ☆須崎みな(七二)嘉瀬 ☆吉崎な(七九)嘉瀬 ☆山中た(七二)嘉瀬 ☆葛西タカ(八九)喜良市 ☆岡田唯吉(八一)喜良市 ☆加藤 栄(三〇)喜良市 ☆今 重義(二五)喜良市

第18回「人権週間」

12月4日から10日まで わが国においても、毎年十二月四日から「人権の日」の十日までを「人権週間」とし、「世界人権宣言」の趣旨にのっとり、いろいろな行事を行なっています。今年も、法務省が中心となって、人権擁護思想の普及と人権擁護委員制度の周知徹底をはかるとともに、とくに個人の「名誉・信用の尊重」に重点をおいて、全国各地で「人権の日」の集いや座談会、講演会などを開くことになっています。なお、人権問題の相談や人権侵害の救済にあたる金木町の人権擁護委員は次の方々です。

★国民は、すべての基本的権利の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的権利は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる【日本国憲法第十一条】

町では、さびれゆく公園の面目を一新するために「公園整備五年計画」をつくり、芦野公園の整備を進めています。第一年度の事業を完了しました。

整備進む芦野公園

年次計画で充実はかる

昭和三十三年に「屏風山権現崎県立公園」地域に編入された芦野公園は、三十六年に児童動物園、三十七年に梅園を設置、四十年には太宰治碑を建立して観光地としての条件を徐々に整えてきました。

ところが、公園内のいろいろな施設が老朽化し、松をばじめとして、草木の手入れが不十分だったことなどから、最近では「さびれゆく公園」とのかけ口さえもきかれるようになってきました。

そこで、この汚名を返上しようとして「公園整備五年計画」をたて、充実した公園の造成を目標に、今年度から事業実施に入ったわけだ。

「五年計画」の第一年度に当たる今年度は、予算二百万円ほどで演芸場の移転新築、梅園のさくとり付け、公園内道路の整備、動物を収容するオリの取り替え、動物園管理舎の増改築などを行ないました。

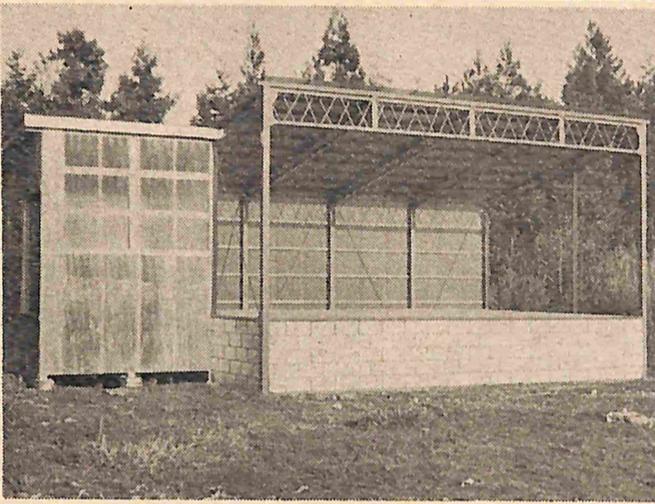
演芸場は、鉄骨ブロック

第一年度の事業終わる

演芸場の新築や梅園整備

建ての半永久的なもので、金木中学校の裏側に移転新築、梅園にはビニールをかけた金網をめぐらしました。

来年度以降も毎年二百万円くらいの予算を注ぎこんで、シカ、サルなどの動物を飼育するほか、丹着き場の建設、給水施設の設置、つり橋の建設等数々の事業を行ない、いつても楽しめる公園の実現をはかることにしています。



【新築された演芸場】

農地報償の請求

四十二年三月までに

農地を旧自作農法の法律によって国に買収された方に農地報償金を支給してあります。

この事務は昭和四十一年四月から始めています。買収された方が請求書を出さなければ支給されません。

買収された面積が田の場合は一畝歩以上、畑の場合は一畝歩以上(畑二畝歩で田一畝歩に換算)あれば支給の対象となります。

この法律は昭和四十二年三月三十一日までの時限法

農地の転用は 県知事の許可を

農地を宅地などに転用するときは県知事の許可をとりなければなりません。

最近、田や畑に家を建てたりする方が多くなり、昨年一年間に農地の転用の許可をとったものが三十六件ありました。

このほかにも規則を知らずに農地に家を建てたり、作業場を作ったりしたものが大分あるようです。

ですから、該当する方はお忘れなく農業委員会へ請求書を出して下さい。

最近、こういう例がありました。金木のある人が従業員宿舎を建てたが、農業委員会へ許可申請を出しないうちに着工してしまいました。

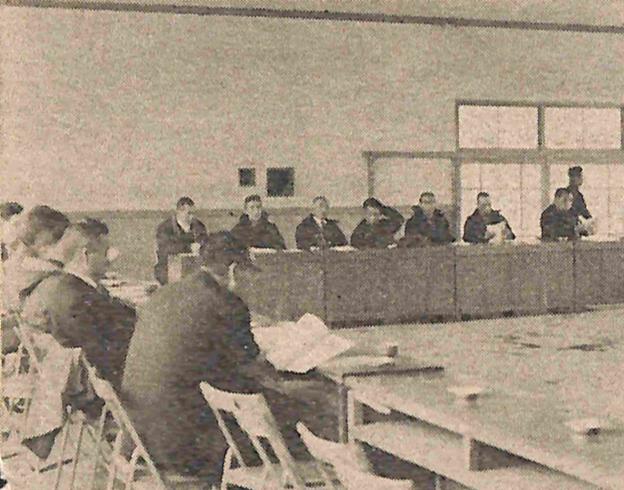
町税の年内完納については、十一月十五日から十二月二十五日までを町税完納推進月間と定め、町民に納税の促進を呼びかけることとし、組合加入の促進については、組合長が中心になって、未加入者を勧誘することにしました。

年内完納を申し合わせ

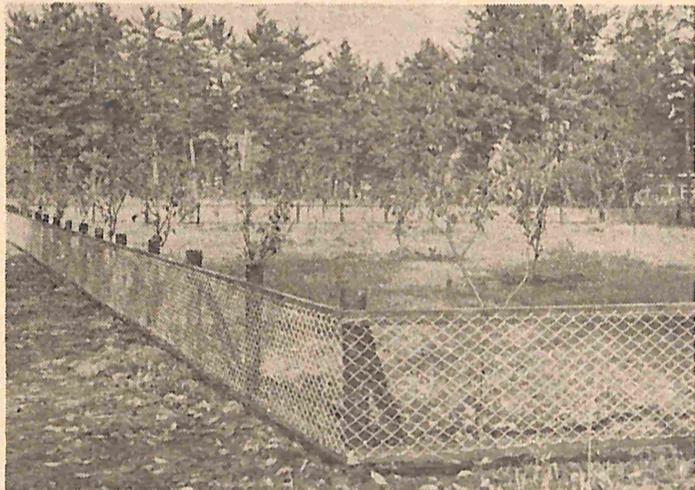
未加入者の加入促進も

納税組合長会議

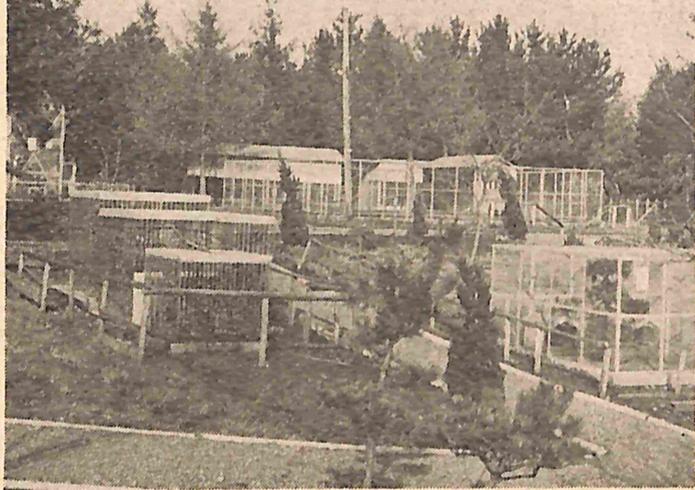
金木町納税貯蓄組合連合会(高橋松太郎会長)は十一月十五日、青年研修所で組合長会議を開き、町税の納期内完納、組合未加入者の加入促進をはかることを申し合わせ、また任期満了による役員改選を行ないました。



【納税組合長会議】



【さくをめぐらした梅園】



【整備された動物園】

新しい役員はつぎのとおりです。

- ◎会長 高橋松太郎
- ◎副会長 木村金利、中村本真、柳引政雄
- ◎理事 成田清一郎、小山内義美、土岐岩五郎、三瀧正芳、吉田与七郎、吉崎新一、外崎栄、大橋喜八郎、鳴海金四郎、角田源三郎、田中清一
- ◎監事 津島正次郎、泉谷正義、鳴海勲、新岡清士

県では、公共の福利の増進に功労のあった人たちが、今年度の受賞者として、県内に在住三十一人、二団体、県外在住六人を発表し、去る十一月二十五日、県庁で表彰式を行ないました。

表彰された人の中には、金木町沢部の白川善三郎さん(六七)も含まれています。

白川さんは、四十二年間、消防業務一筋に生きてきた功績を認められたものです。

また白川さんは、同じ功績で昭和三十九年に消防庁長官から表彰されており、今年度の四月には、内閣総理大臣から勲六等瑞宝章をも

十二月の納税

町県民税 四期
固定資産税 三期
保険税 四期

十二月三十一日

防災家族会議

避難方法のとき
火事地震のとき
火事地震のとき

家族で防災会議を開き万全の構えを……

備えあれば憂いなし

国民年金の保険料の納め忘れはありませんか

国民年金は、年をとったり、病気がけがなどのために身体が不自由になったり、死亡した場合に、老齢年金、障害年金、母子年金などの給付を行ない、生活の安定がそなわれるのを防止することを目的としています。

その給付に必要な費用は、国民年金に加入している人がお互いに保険料を出し合い、国もその保険料の二分の一に相当する額を同時に積み立て、その中から支給される仕組みとなっています。

したがって、老齢年金など国民年金の給付を受けるためには、一定の条件に当てる必要があります。とくに老齢、傷害、死亡という事故が発生した時点で、その前に一定期間について保険料が納付され、あるいは免除されていることが必要です。

保険料を納めていないために、国民年金がもらえない、というようなことのないよう保険料は忘れずにきちんと納めるようにしてください。

農業者の必読紙

「全国農業新聞」購読のおすすめ

「全国農業新聞」は農業委員会、農業会議、全国農業会議所が責任をもって、全国の農業委員はもちろんだ、自立経営を目指す農業者、農村の指導者におとどけする新聞です。

いまや中央・地方を通じて「農業者必読の新聞」として、各方面から好評をいただいております。

発行日 毎週金曜日
購読料 一月百円
申込先 農業委員会事務局

全国農業会議所
金木町農業委員会